

カンボジア 工場労働者のための子宮頸がんを入口とした 女性のヘルスケア向上プロジェクト

A News letter from SCGO-JSOG Project on Women's Health and Cervical Cancer

No.3 Jan 2016

西野るり子医師着任

1月24日～3月2日の予定で、一般財団法人 全日本労働福祉協会の産婦人科医である西野るり子先生が当プロジェクトに着任されました。

西野先生にはプロジェクトが対象にしており、また昨年日本で研修を受けた医師たちが勤務している国立3病院(クメールソビエト病院、カルメット病院、国立母子保健センター)での外来指導や子宮頸がんに関する講義をして頂くことになっており、着任早々3病院の巡回指導を開始して頂きました。

日本で研修を受けた医師達は、日本で学んだこと、そして11月に大阪大学の産婦人科の先生方から1週間指導を受け、自分たちなりに診療の工夫をする中で起きた数々の疑問を西野先生に尋ね、非常に熱心に学んでいます。

病院の現状

カンボジアでは病院によってはカルテがなく、また検査を行っても結果を患者さんに説明して渡すだけで自分たちの病院には記録を残していませんでした。何か検査で異常があっても、その患者さんのフォローアップをすることが出来ませんでした。

プロジェクトの一環として、国立3病院で共通の患者登録フォームを作ろうとしています。クメールソビエト病院では、今月からまず、お手製の大きなノートに手書きで日付、患者さんの名前、主訴、細胞診結果、コルポスコピー所見、生検した場合の病理結果等の項目を作り、外来で記載を始めました。

日本では病院にカルテがないということは考えられないかもしれませんが。カンボジアの医師達は、患者さんをフォローアップするには記録が残っていないと出来ないこと、またその変化をみていかなければ自分たちの診断能力が上がらないことを理解し、できることから少しずつ取り組んでいます。

西野先生が帰任されるまで、多くのことを学び、今後のカンボジアでの子宮頸がん早期診断・早期治療の為に生かしてくれるものと期待しています。



(写真)コルポスコピーを受けた患者さんの台帳を西野先生に見せてアドバイスをもらうクメールソビエト病院の医師

プロジェクトを取り巻く動き

- 12/25 : カンボジア保健省の倫理委員会で工場意識調査の承認
- 1/6 : カンボジア実践部隊医師とアドバイサーチーム第二回合同会議
- 1/14 : SCGO 理事会
- 1/24-2/5 : 松本安代医師カンボジア派遣
- 1/24-3/2 : 西野るり子医師カンボジア派遣
- 1/27- : 西野医師、松本医師による3病院技術指導
- 1/27 : カンボジア実践部隊医師、アドバイサーチーム、日本人医師による第三回合同会議
- 1/28 : 西野医師に第一回ミニレクチャー



(写真)西野先生の週1回のレクチャー。受講生は熱心にレクチャーを聞き、レクチャー後は活発な質疑応答、意見交換を行っています。

SCGO Web 開設

ついに SCGO のホームページが開設されました!!

<http://scgo-kh.com/>

今後随時内容を更新して、発信内容を充実させていく予定です。

どうぞよろしくお祈りします。

～ミニミニコラム～

プロジェクト開始当初から縁の下の力持ちとしてプロジェクトを支えてくれているカンボジア人スタッフのナレンさんとバツティさん。ナレンさんは姉御肌で、仕事が速く、バツティさんは夜大学に通う頑張り屋さん。最近カンボジア産婦人科学会事務局の名前が入った二人の名刺が出来上がりました。受け取ったときの満面の笑み！この名刺が彼女達の仕事へのモチベーションアップに一役かっているようです。

